

## Zoropsidae のクモ日本の Fauna に入る

八 木 沼 健 夫  
(大阪追手門学院生物研究室)

### A New Zoropsid Spider from Japan

Takeo YAGINUMA

Biological Laboratory, Otemon Gakuin, Osaka, Japan

Zoropsidae に属するクモは従来は地中海沿岸地方・小アジア・マダガスカル・アフリカ・メキシコ・テキサスから発見されているが、わが国では今日まで発見されず、またおそらく産することはないであろうりと予想されていた。ところが最近京都と山口県の2ヶ所で本科のクモが一頭ずつ採集され、新しくわが国の Fauna に入籍した。日本未記録の属や種は時折発見されるが、Zoropsidae の如き発見は如何にわが国のクモ相が完全に究明されていないとはいえ特筆に値するもので、分布上から見ても非常に興味のあることである。今回の標本は京都産のものが成雄、山口県産のものが成雌で十分な精査の結果同一種であることが確認され、また従来記録されている何れにも該当しないので、ここに新種として記載することにした。本篇記述に当り貴重な種の発見者であり材料を提供下さった東京林業試験場の西村太郎氏、山口県光市室積中学校科学部、並びに文献に関し種々便宜を与えていただいた国立科学博物館上野俊一博士や九州大学農学部昆虫学教室大熊千代子氏に厚く御礼申上げる。

### 1 種 の 記 載

Fam. Zoropsidae [スオウグモ科] (周防蛛科)

Gen. Zoropsis [ソレグモ属] (逸蛛属)

Sp. *Zoropsis nishimurai* n. sp. [ムロズミソレグモ]

〔和名と学名の由来〕 科の和名は最初の発見地<sup>2)</sup>及び今回の模式標本産地が何れも山口県東南部であるところから国名をとつてスオウグモ科<sup>3)</sup>とし、属の和名は岸田久吉氏の仮称のソレグモをそのまま採用させていただいた。種の和名は Holotype の採集者が光市室積中学校科学部であるところからムロズミソレグモとした。なお学名は Allotype の採集者であり、成体採集の最初の人である西村太郎氏(当時林業試験場京都支場長)に献名したものである。

注 1) 岸田久吉: 日本産蜘蛛類(3), 科学世界, Vol. 7, No. 6, pp. 527-528, 1913.

2) 岸田久吉博士によれば本科の♀幼が昭和13年(1938)に山口県田布施(今回の光市に近い)で採集されたことがあり、属種未決定のまま今日に及んでいる由。御教示をいただいた博士に感謝の意を表する。

3) 国名を科名にとってある例は他にヤマシログモ科・ヒゼングモ科・イヨグモ科などがある。

〔産地・採集者・年月日〕

**Holotype** : 成雌。山口県光市室積町。光市室積中学校科学部生徒 (代表者 中川和人氏)。7-VII-1962

**Allotype** : 成雄。京都市伏見区桃山町。西村太郎氏。22-III-1962

〔記載〕 **Holotype**. (♀) 形態 : 頭胸部は長さが幅に優る (約 4 : 3)。頭部はあまり細くなくかなりの幅がある。頸溝・放射溝は浅く、中窩は縦向きで深い。眼は 2 列で *Zora* に近く、2 列から 3 列への移行型。前列はほぼ端直 (前方より見れば前端線はわずかに後曲)、後列は強く後曲する。前中眼は最小、前側眼は最大で、後列眼はほぼ同大で前側眼よりやや小。前中眼間はその眼直径をへだて、前中側眼間は前中眼半径より小。後中眼間は眼直径よりせまく、後側眼はほぼその 2 直径で後中眼より斜後方にはなれる。後中前中眼間は前中眼径をへだてる。中眼域はわずかに幅より長く前辺は後辺より小さい。額は前中眼径とはほぼ同長であるが、わずかに額の方がせまい。触肢端に爪があり末節には軟毛が密生する。上顎の前後牙堤におおの 3 歯があり、何れも中央のものが大きい。下顎はほぼ平行で前内方に毛束があり先端部のものは特に長い。一見フクログモ状で毛束は下顎下面に及んでいない。下唇は幅が長さより大きく先端は下顎の約  $\frac{1}{2}$  のところにある ; 下方に向つて少し両側にふくれるが基部にはえぐりがある。胸板はまるく (短卵形) 中凸、白毛と褐毛を混生する。後端は第 4 基節間に挿入しない。歩脚式は 1423, 全体に刺が多い。第 1 腿節内面前方に長い 2 本 (**Holotype** では左に 3, 右に 2 : **Allotype** では共に 2 本) の刺があり、脛節下面に 7 対、臁節下面に 4 対の刺が整然と並ぶ (末端の小さい 2 本を除く)。第 2 脛臁下面も第 1 脚と同様である。第 3, 4 脚にも刺があるが第 1, 2 脚のように整然と並んでいない。各脚に末端毛束があり、また附節にも毛束がある。爪は 2 本で歯がある。第 4 脚臁節の上方  $\frac{1}{3}$  位のところに毛櫛群があるが、他の節疣類の如く列をなさず群集する。 (大きな特徴である)。腹部は長くドクグモ・ハシリグモ状。3 対の糸疣の他に節疣があり弱く 2 分する。気管気門はその直前にある。

色彩 : 全体やや赤味を帯びた黄褐色、頭胸部は中央と側縁の間に黒色の不規則な 2 縦条があり、一見シボグモの如き感がある。全体に白毛密生し眼付近のものは長い。上顎下顎は黒褐色。触肢は腿節は淡色で末端は黒褐色となる。歩脚腿節末端に多くの小黑斑があり濃く見える。各脛臁節に 2 個ずつの環斑があるが輪廓は明瞭でない。基節・腿節下面は淡黄褐色で各基節下面中央に 1 つずつの黒斑がある。胸板は周縁赤褐色で中央淡色となり黒毛や白毛を混生する。腹部背面は黒・褐・白毛を混生し全体としては灰褐色に見える。中央にわずかに淡色の矢はず斑があるがあまり明瞭ではない。腹部下面は淡灰褐色で灰色の小斑点が散布する。外雌器は濃赤褐色で白色部や橙色部も見られる。

**Allotype**. (♂) 形態的には雌とほとんど異なるところがないが、大きなちがいは第 4 脚臁節上に毛櫛群が見られないことである (2 分せる節疣は明瞭である)。触肢は脛節に幅の広い大きな突起があり、膝節背面に扁平な幅の広い毛が基部に 1 本・中央に 2

本ある。

測定：(mm)

	Total length	Leg I	Leg II	Leg III	Leg IV
Holo. ♀	10.8	15.5	13.7	10.8	15.0
Allo. ♂	11.2	18.0	15.7	12.3	16.5

〔備 考〕

1. 本種は *Zoropsis spinimana* (DUF0UR, 1820) によく似ているが、背甲や腹背の斑紋は *Z. spinimana* の如く明瞭でないし、前脚脛關節下面の刺の数を異にする点で区別出来る。また *Z. maculosa* O.P.C., 1908 や *Z. rufipes* (LUCAS, 1839) にも似たところがあるが前脚脛關節下面の刺の数が異なり、また歩脚式が本種は1423である点で区別される。

2. 本種は一見 Lycosidae や Pisauridae の感があるが爪 2本の点で明らかに別科である。眼の排列は *Zora* に近く *Pisaura* の排列に近づく。下顎下唇の形状や毛束あるいは触肢(8)の形態は Clubionidae に似ている。背甲の斑紋は Ctenidae を思わせる。眼の排列以外の点では Acanthoctenidae に近い。かような点から Zoropsidae は節疣を持つ他のグループよりは、むしろ Clubionidae や Ctenidae に近縁の如く思われ、Petrunkewitch のいう如く、節疣の発達は系統樹の大きな枝をなすものでないということが感じられる。この属はかつては *Dolomedes*, *Olios*, *Lycosa*, *Zora*, *Lycosides*, *Cerbrenis* などと考えられたことのあるのも当然であろう。

3. 生態の詳細は不明であるが、Holotype の採集者によれば、本種は1年以上放つてあつたレインシューズを取出した時、靴の上に産みつけられた卵から出て来た子グモをその卵のそばでじつと♀親が保護していた由。また Allotype は屋内座敷上を這つていたとのことで、屋内徘徊性のクモであることには間違いはないであろう。

ヨーロッパでは輸入のバナナなどについて移入した例があるが、我国のものは山口県で2回の発見があり、また京都に於ても採集されたことから稀薄な存在として生息することを認めてよいであろう。今後多くの人の注意をお願いしておく。

4. Type 標本は東亜蜘蛛学会に保管する。

***Zoropsis nishimurai* n. sp.**

Holotype (♀) : Yamaguchi Prefecture, 7-VII-1962,

Collector Mr. K. NAKAGAWA

Carapace longer than wide, 4:3 in ratio. Head not so narrow. Cervical grooves and radial furrows present, but shallow. Longitudinal median furrow deep. Diurnal eight eyes in two rows arranged somewhat as in *Zora*. Anterior

row of eyes almost straight seen from above, slightly recurved seen from in front. Posterior row strongly recurved. Anterior median eyes the smallest ; anterior laterals the largest. Posterior median eyes almost as large as posterior lateral eyes. Anterior median eyes separated from each other by the diameter and from laterals by less than the radius. Posterior median eyes separated by the diameter, from adjacent laterals by two times the diameter. Posterior median eyes from anterior median eyes by the diameter of anterior median eyes. Median ocular area slightly longer than wide, narrower in front than behind. Clypeus almost equal to the diameter of anterior median eyes. Palp with a claw and many soft hairs. Each margin of fang furrow with three teeth of which the middle one the largest. Maxillae subparallel, with scopulae long apically and not extending over the surface of maxillae as also case in Clubionidae. Labium free, wider than long, about half as high as the maxillae. Sternum egg-shaped and convexed. 4th coxae contiguous. Leg formula 1423. Tibia I with 7 pairs, metatarsus I with 4 pairs of ventral spines (excepting apical two). Leg II same as in leg I. Leg III and IV with many spines not forming pairs. Claw tufts and leg scopulae present, and a clustered calamistrum (unlike the other cribellates spiders.) on tibia IV. Abdomen resembles Lycosidae or Pisauridae in shape. Cribellum weakly divided. Tracheal spiracle in front of spinnerets. Epigynum well sclerotized.

Colour : Brown. Carapace with black markings resembling the pattern of Ctenidae, covered with white hairs. Chelicerae and labium blackish brown. Palp light yellow, becoming deeper toward apex. Legs with black spots on each femur. Sternum reddish brown, lighter in center, furnished with white and brown hairs. Abdomen covered with a mixture of black, brown and white hairs. Dorsal surface of abdomen with weak chevron markings, but not very clear. Ventral surface light greyish brown with small grey spots. Epigynum deep reddish brown.

Allotype (♂) : Kyoto City, 22-III-1962,

Collector Mr. T. NISHIMURA

Essentially similar to female in structure, but lighter in colour. Pattern of abdomen distinct. Palp with a large broad apophysis on tibia, three flattish hairs on patella. Cribellum similar to that of female, but calamistrum wanting.

Measurements (mm) : see page 3.

Remarks : Present species closely allied to *Z. spinimana* (Dufour, 1820), *Z.*

*maculosa* O.P.C., 1908 or *Z. rufipes* (Lucas, 1839), but it differs from *Z. spinimana* by the number of spines on anterior legs and the shape of pattern on carapace, and from the other two also by the number of spines on anterior legs and leg formula.

With the exception of existence of calamistrum and cribellum, Zoropsid spiders resemble Clubionidae or Ctenidae in various points, and cribellum and calamistrum seems to be not so important characteristic for discussing the phylogeny of spiders.

It is interesting that a species belonging to Zoropsidae has been found in Japan far from Europe, Africa and Central America.

Type specimens have been preserved in the collection of Arachnological Society of East Asia.

## 2. Zoropsidae, *Zoropsis* の標徴

この科属のものがこれまでわが国で知られていないので、科属の標徴を次に掲げておく。

**Zoropsidae** : 節疣 (2分) 及び毛櫛がある。毛櫛は一般に列をなさず集団的に群をなす。6糸疣。8眼同質で昼行性で2列 (3列に移行型)。上顎に外顎と毛束がある。両牙堤に歯がある。下唇は可動、下顎は平行で毛束があるが毛束は下顎表面に及ばない。歩脚に刺があり、跗節や末端に毛束がある。2爪で同質、単齒列がある。聴毛多数あり脛蹠跗節上に不規則に並ぶ。気管気門は糸疣の近くに位置する。気管は腹部内にあつて頭胸部までのびない。

***Zoropsis*** : 後列眼はほぼ同大で強く後曲。中眼間は中側眼間よりせまい。前列眼はたがいに接近し端直。中眼は側眼よりはるかに小。額は前列眼とほぼ同長かかろうじて広い。下唇両側はほぼ平行し先端は鈍く切断状。歩脚は太く長く4123又は1423で強大な刺があり、前脚脛節下面に5—5または6—6の対刺がある。Type species : *Zoropsis spinimana* (DUFOR)

## 3. Zoropsidae に含まれる属種

Zoropsidae は広義には Zoropsidae と Acanthoctenidae を合したもので Simon などはこの見解をとっているが、最近では2つの科として分けて扱われている。Dahl は従来 Zoropsidae に属していたものを分離した科 Zorocratidae や Tengelidae に分散編入したり、Acanthoctenidae を Ctenidae の subfamily とした。しかしこの体系は今日ではあまり用いられていない。

Zoropsidae には次の属を含んでいる。

<i>Zoropsis</i> SIMON, 1878	15種 (地中海沿岸・小アジア)
<i>Zorocrates</i> SIMON, 1888	8種 (メキシコ・テキサス・サルパドル)
<i>Uduba</i> SIMON, 1887	5種 (マダガスカル)
<i>Raecius</i> SIMON, 1892	2種 (コンゴ・エチオピア)
<i>Zorodictyna</i> STRAND, 1907	1種 (マダガスカル)

Plate I *Zoropsis nishimurai* n. sp.

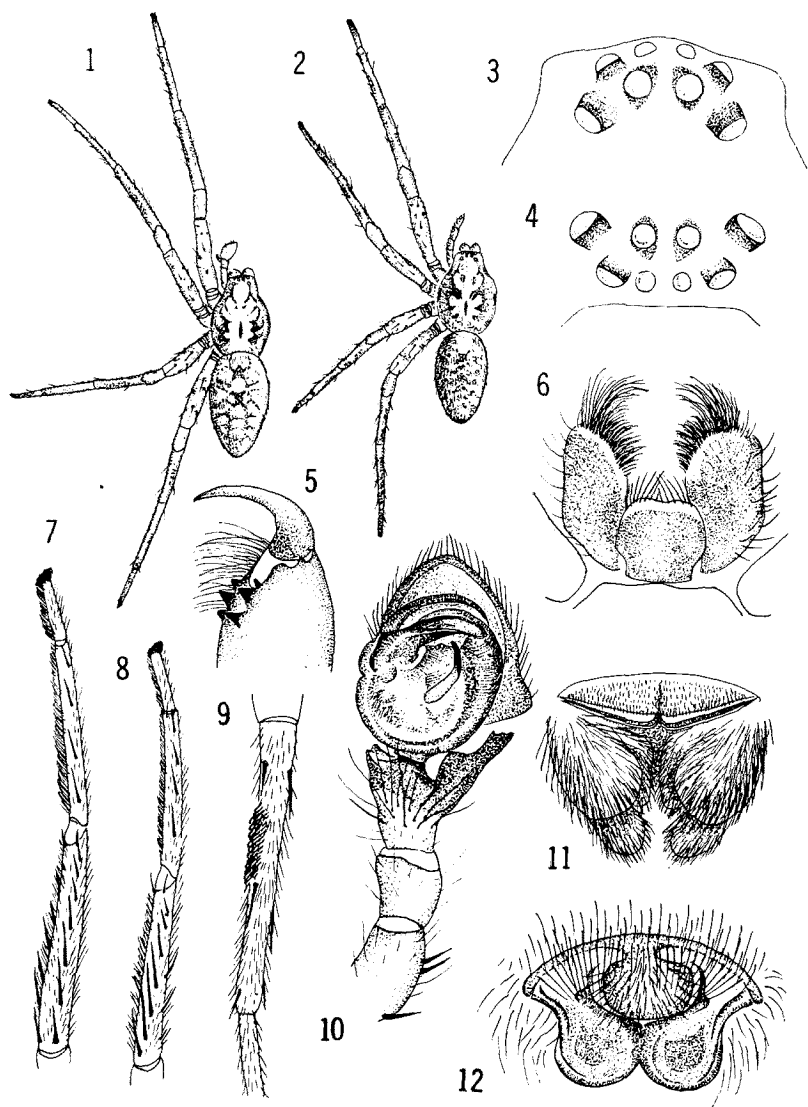
Upper left : Holotype ♀ (Yamaguchi Pref.)

Upper right : Allotype ♂ (Kyoto City)

(Photo. T. YAGINUMA)

Plate III *Zoropsis nishimurai* n. sp,

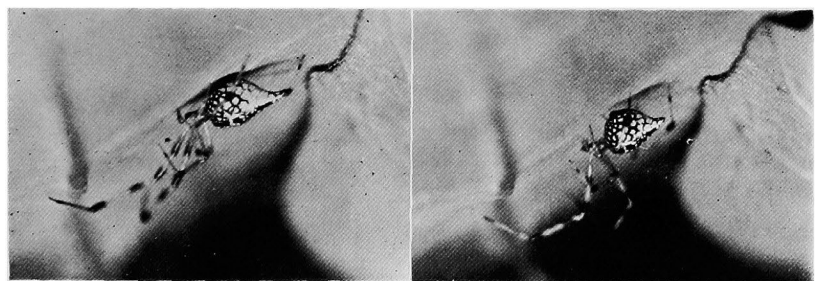
1. Dorsal view (♂)
2. Dorsal view (♀)
3. Eyes (Dorsal view) (♂)
4. Eyes (Frontal view) (♂)
5. Chelicera (♂)
6. Maxillae and labium (♂)
7. Leg I (♂)
8. Leg II (♂)
9. Leg IV with calamistrum (♀)
10. Palp (♂)
11. Cribellum and spinnerets (♀)
12. Epigynum (♀)



T. YAGINUMA del.

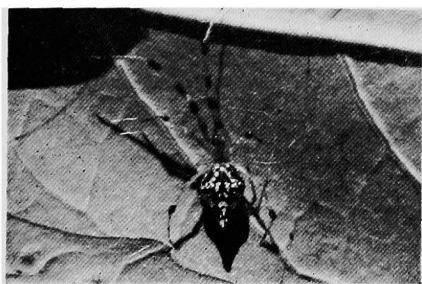


♀ *Zoropsis nishimurai* YAGINUMA n. sp. ♂



1.

2.



3.

Changes in Colour *Chrysso*  
(= *Argyroaster*) *venusta*

YAGINUMA

—Photo. T. YAGINUMA—

(See *Acta Arachnol.* Vol.  
15. No. 1)